



ピースボートおりづるダイアログ

みんなで描く『継承』のカタチ

『継承』ってなんだろう？

原爆投下から68年。被爆第一世代が直接の証言をできる時間が限られていく一方で、時を経るにつれ、原爆に対して、記憶も知識も関心も薄れてしまっている現状があります。ヒバクシャの想いをカタチにするため、いま、私たちには何が出来るのでしょうか。

NGOピースボートでは「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を通して、これまでに142名のヒバクシャとともに「核なき世界」へのアピールをしてきました。そして、来月出航する「証言の航海」では、9名の被爆者とともに、次世代へ語り継ぐ担い手として「おりづるユース特使」が世界へ核兵器の悲惨さを訴えます。

「被爆経験の『継承』とは何だろう?」「『継承』の先に望む未来とは?」など。それぞれが抱える課題や想いを共有しながら、世代や国籍、立場を越えて、次世代へつなぐ「継承」のあり方を、一緒に考えてみませんか。

【日時】

6月24日(月) 18:30~20:30 (開場18:15)

【場所】

広島平和記念資料館 東館地下1階 会議室2

【内容】

- ◇映画「ヒバクシャとボクの旅」一部上映
- ◇パネルディスカッション
「被爆経験の『継承』って何だろう？」
- ◇グループディスカッション
- ◇「おりづるユース特使」瀬戸さんスピーチ、など

【参加費】

300円(資料代として)

【お問い合わせ・お申込み】

6月23日(日)19時までに、参加希望の旨をメールもしくは電話でお知らせください。
担当:ピースボート 古賀早織
Mail: koga-s@peaceboat.gr.jp
Tel: 03(3363)7561(平日/10時~19時)

映画「ヒバクシャとボクの旅」

監督: 国本隆史

制作: 川崎哲/ピースボート、国本隆史

内容: 被爆証言を聞いてもどうすればいいのかわからなかったー。

2008年、第1回「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」に同行した国本隆史監督(当時27歳)が、「被爆体験の継承とは何か」というテーマをストレートに描いた作品。



パネルディスカッション

◆瀬戸麻由

:「おりづるユース特使」として、7月より第6回「証言の航海」参加予定。広島被爆3世。現在、早稲田大学在学。



◆李鐘根

:在日韓国人被爆者(当時15歳)。今春「ヒバクシャストーリーズ」に参加、ニューヨークで証言。



◆岡本忠

:被爆者(当時1歳)。第6回「証言の航海」に参加予定。ピース・ボランティアとして、広島平和記念資料館でガイドを務める。

